

令和2年度 第1回米子市交通バリアフリー推進協議会 議事録（概要）

1 開催日時 令和2年11月13日（金曜日）午後1時30分から3時45分

2 開催場所 米子市役所本庁舎4階401会議室 ほか

3 出席者

(1) 米子市交通バリアフリー推進協議会委員

梅津委員長、天野委員、上田委員、木村委員、山本委員、田草委員、下垣委員、塚根委員、安木委員、井畑委員、米増委員代理 伊藤氏、隠樹委員代理 山浦氏、西川委員、国森委員、小笹委員、澤委員代理 陶山氏、船越委員、大澤委員、景山委員、伊藤委員、永原委員、岩田委員

(2) 随行者 6名

(3) YMCA学生 5名

(4) 米子高専学生 11名

(3) 手話通訳者 2名

(4) 事務局

八幡総合政策部長、石上交通政策課課長、山根担当課長補佐、金田係長、山内主任、牧野主事

4 会議の次第

(1) 開会

(2) 総合政策部長挨拶

(3) 委員長挨拶

(4) 新任委員紹介

(5) 現地点検調査方法の説明

(6) 現地点検調査

(7) 議事

ア 点検結果報告

イ 意見交換

(8) 閉会

5 議事の概要

(1) 点検結果報告

委員長 点検結果報告について事務局からお願いしたい。

事務局 A班点検結果報告（市道中町東町1号線）

9号線付近にある民営の駐車場と歩道の境界に段差を解消するための鉄製のスロープが設置してあった。図書館入り口付近に標識を取った後の基礎が残っていて適正に処理されていなかった。図書館付近の植樹帯に植樹している「ヤマアジサイ」の木の根が歩道まで張り出して歩道が隆起していた。合同庁舎の出入口付近の歩道が隆起していた。飲食店の看板が歩道に設置してあった。飲食店近くの歩道に植栽があった。

事務局 B 班点検結果報告（市道中町灘町線）

旧庁舎付近のグレーチングの隙間が広く、白杖の先が入るところがあった。往路で、点字ブロックと電柱の距離が短く、歩行に支障をきたす恐れがあるところがあった。天神橋付近の民家の植栽が越境しており、歩行に支障をきたす恐れがあるところがあった。加茂川沿いに橋が複数ある関係上、歩道に傾斜がある箇所があった。中町交差点のエスコートゾーンに剥離があった。米子信用金庫前の点字ブロックがすり減っていた。

委員 B 班において、歩道上に照明灯が無かった。

委員 A 班において、木が邪魔をして標識が見えない箇所があった。

歩道が自転車用と徒歩用で色分け等がしてあると、聴覚障害の方でも安心して歩きやすい。

協議会に、盲ろうの方に加わっていただけると良いと思う。学生の模擬体験についても、ヘッドホンとアイマスクの両方を使うなど盲ろう者役があると良いと思う。

参加者 歩車道段差が 2 c m になっているかという項目があるが、段差は必要ないと思っている。今は点字ブロックで警告ブロックがある。2 c m の段差があることで、高齢の方、手押し車を使われている方、ベビーカーを使われている方にとって、段差は障害でしかない。東京では 5 m m 以下、埼玉では設けないとしている。福岡県田川市は段差を排除した結果、高齢者が歩くようになり、要介護率 3 1 % だったのが 2 2 % まで低減している。医療費削減にもつながっているし 2 c m の段差は必要ないと思う。

自転車は車道側を走らなければいけないが、道路交通法を無視して歩道側を走っている。警察がどれだけ本腰を入れて、指導・取締り等をするかによって変わってくると思う。高齢者のフレイルにも関わってくると思う。

(2) 意見交換

委員 学生に参加いただいているので、感想を聞きたい。

学生 視覚障害者のサポート役をした。視覚障害者にとっては、亀裂、段差、傾斜等が転倒のリスクに繋がると思った。私達は、住みやすい環境づくりをしていけるのではないかと感じた。健常者だから出来る支援があると思う。貴重な機会をありがとうございました。

学生 このような機会をいただきありがとうございます。障害者役を行ったが、最初に抱いた感想としては、怖いなという思いだった。マンホールの段差や横断歩道の点字ブロックなども、普段は認知していなかったもので、こういう機会に知ることが出来て良かった。

委員 整備してあっても、人は歩くし、植栽による起伏など出てくる、何年に一回の点検ではなくて頻繁に点検できると良いと思う。

委員 点字ブロックが剥離しているところがある。気付いた際に連絡できる窓口があると良い。

参加者 車椅子役をされた方の意見も聞きたい。また、今回 Y M C A の学生は作業

療法士科に参加いただいているが、次回は理学療法士科にも参加してもらえると良いと思う。

学 生 普通に歩くときと、車椅子で移動するときでは目線の高さが違うと感じた。普段歩くときでは気にならないが、車椅子だと些細な傾斜でも大きく感じた。また、足元の視界の違いを感じ、移動の難しさを感じた。平坦な道路が出来れば歩きやすくて良いと感じた。

委員長 理学療法士科の参加等については、また相談していきたい。

参加者 ガイドヘルパーをしている。今日は晴れだったので歩道が濡れていなかったが、普段歩いていると様々な場所で水たまりがある。誘導の際は頻繁に水たまりを避けて通っている。砂利等が詰まって水はけが悪いのかとも思う。

民地から車道に出るときに傾斜があるところがある。車椅子の方には怖いと思う。

車が停止線と超えて止まる、歩道を走る自転車のスピードが速い、クラクションを不適切に鳴らす等、マナーが悪い事例がある。

委 員 米子駅のバス停3番4番の誘導ブロックが剥がれ、ヒビが入っているので見ていただきたい。同じく、米子駅タクシー乗り場の音声誘導装置、壊れているので点検して欲しい。

事務局 皆様からいただいた様々な意見については、今後の検討課題とさせていただきます。

事務局 前回協議会において、委員の皆様から頂戴した意見に対する、事務局の方針について3点ご説明する。1点目はロービジョンの方に当協議会に加わっていただきたいという意見について、視覚障害者の中でも、全盲の方とロービジョンの方で視点が異なるため、当協議会で異論がなければ、来年度の改選に合わせ、新たに委員として就任を依頼したいと思う。

2点目は歩行訓練士の方に当協議会に加わっていただきたいという意見についても、当協議会で異論がなければ、来年度の改選に合わせ、新たに委員として就任を依頼したいと思う。

3点目は、全市域のバリアフリー化についてこの協議会で協議してもらいたいという意見について。当協議会は、米子市交通バリアフリー基本構想に基づき、事業の評価、進捗の確認、検討を行なう会としている。この基本構想で設定する重点的整備地区はJR米子駅の北側1km圏内を設定しているため、この区域内について協議することになる。一方で、重点的整備地区外についてのご意見等は、適宜、関係部署等に共有したいと思う。

委員長 米子市交通バリアフリー推進協議会は、様々な障がいをお持ちの方、健常者、行政、事業者が一同に会して協議をし、議論を深める貴重な協議会である。各団体の意見を持ち寄り、今後も住みよい社会を作るために努力をしていきたいと思う。

事務局 今回の現地点検により、整備済み路線については全ての点検が完了した。次年度の現地点検については、路線バスにおける乗降等の点検を行うことにしたい。